



平成26年10月24日

各位

会社名 株式会社 リボミック
住所 東京都港区白金台三丁目16番13号
代表者名 代表取締役社長 中村 義一
(コード番号：4591 東証マザーズ)
問合せ先 取締役執行役員 管理部長 宮崎 正 是
TEL. 03-3440-3303

アプタマーを利用した iPS 再生医療技術の開発に関するお知らせ

当社は、アプタマー創薬に関する独自のプラットフォーム技術である「RiboART システム」の更なる向上、発展を図るべく、アプタマーを利用した iPS 細胞（人工多能性幹細胞）の実用化技術の創製にチャレンジしてきました。当社は本日、平成26年11月1日付で、探索研究部の中に、その専任部門である「iPS プロジェクト室」を設置し、iPS 再生医療技術の開発に取り組んでいくことを決定いたしましたので、お知らせいたします。

iPS 細胞による再生医療を商業ベースで実用化するには、幾つかの技術的な課題が指摘されております。その一つが、iPS 細胞や iPS 細胞から分化した細胞（分化細胞）を高純度で取得、選別し、目的外の細胞や不要な物質を除去する「純化」に関する技術です。この技術に関しては、世界的に様々な開発研究がなされていますが、未だに実用化の技術は確立されたとはいえません。

当社では、「RiboART システム」を利用して、生きた細胞に対して特異的に結合する（すなわち目的外細胞から選別できる）アプタマーを創製する技術を確立し、iPS 細胞や分化細胞の純化へのアプタマーの応用について、調査、研究を行ってまいりました。

その結果、アプタマーが iPS 細胞や分化細胞の純化における新技術となりうると判断し、このたび、探索研究部内に専任部門として「iPS プロジェクト室」を設け、iPS 細胞関連の事業を展開している製薬会社との共同研究や大学等との連携の推進、および関連するアプタマーの創製に向けた活動を本格的に行うことといたしました。

なお、「iPS プロジェクト室」の室長は、取締役執行役員探索研究部長の宮川伸が兼務いたします。

また、本件は、当社の事業の拡大に寄与すると考えられますが、平成27年3月期通期業績への影響は、現時点では、軽微であります。

以上

<用語解説>

アプタマーの iPS 細胞や分化細胞の純化への応用

アプタマーとは、核酸（主に RNA）を素材とした分子で、多様な立体構造を形成できるといふ RNA の特性を利用して、病気の原因となるタンパク質に結合して、その働きを阻害あるいは調整します。従って、アプタマーの一般的な用途は医薬品です。しかし、それにとどまらず、iPS 細胞及びその分化細胞に特異的に発現するタンパク質を捕捉することによって、それらの細胞を選択的に選別、分離し、iPS 細胞の実用化技術に応用できます。

株式会社リボミックについて

株式会社リボミックは、次世代新薬として注目されている核酸医薬の一種「アプタマー医薬」の開発を目的とする、創薬プラットフォーム系バイオベンチャーです。株式会社リボミックの創薬基盤技術である「RiboART システム」は、様々なアプタマー医薬の開発に応用することが可能です。株式会社リボミックは疼痛・線維症・血液疾患・骨疾患を始めとして、広い領域の Unmet Medical Needs（未だに満足すべき治療法のない疾患領域の医療ニーズ）に対する新薬の提供を目指してまいります。

アプタマーはiPSにも利用可能

